

乳がんは女性で一番多いがん  
(約 10 人に 1 人) ピークも  
40 歳代後半と 60 歳代と閉経  
してからが多いがんです。

# 乳腺外科

## 日頃の気になる症状に

胸の痛み、しこり、張りを感じる、など乳房のことが気になるとおっしゃる方に

きちんと診断し、異常が無い場合も定期的な検診におつなぎします。

### 診断

- 検診
- 精密検査

## お任せ下さい、乳がん検診

症状がなくても一度検診を受けてみたい方に

都合の良い時間に市民検診を受けたい方に

その場でマンモグラフィやエコーをご覧に入れて、ご自身の乳房のことが分かるようにお話しします。

また検診結果が『精密検査が必要』だった方に CT・MRI、細胞診・エコーガイド下組織生検・ステレオマンモトーム生検で正確な診断をお伝えします。

### 治療

- 外科手術
- 薬物療法
- 放射線療法

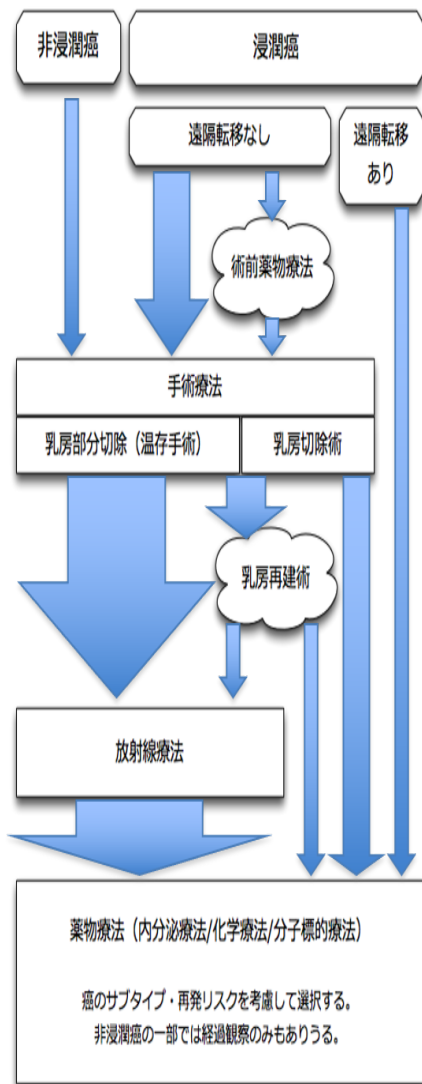
## 乳がんといわれたら

『乳がん』という病気でご自身の人生ができるだけ邪魔されないよう全力を尽くします。

手術：乳房再建までを当たり前の選択肢としてご自身が術式を選び切って頂けるよう繰り返しお話しします。

### 治療を 終えて

- 健康増進
- 転移
- 再発



**薬物療法：**病理診断科・腫瘍内科と共同して、**乳がんのタイプを見極めた最適の治療を進めます。**

**放射線治療：**京大関連の放射線治療施設と連携して治療に当たります。

リスクに応じて**遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとする遺伝学的診断にも対応**しております。

## 乳がん治療をご一緒に

**乳がん罹患者の平均年齢は 60 歳。**健康を維持するためには**かかりつけの先生方による全身状態のチェックが欠かせません。**多くの乳がん患者さんが乳がんのことだけに気を取られ、基本検診をはじめとする**健康づくりは忘れがち**です。

例えば、乳がん患者さんの 7 割が受けているホルモン療法は 5 から 10 年と長期にわたり、脂質代謝異常、心・血管疾患のリスク増加、骨粗鬆症などが心配されます。また肥満や運動不足は明らかな転移・再発のリスクと言われております。**完治とその先の健康増進のためには是非とも先生方のお力添えが不可欠**と考えております。京都府 **がん地域連携手帳の活用**も進めております。

## 転移・再発といわれても

日進月歩で新しい治療法が登場しています。簡単にあきらめないで、一番『**これまでの自分**』で**いられる治療を進めます。**積極的に**遺伝子診断の利用**もお勧めしております。並行して十分な**症状緩和やアドバンス・ケア・プランニングの導入**も緩和ケアチームと共同して行っております。

